

平成27年度 学校経営計画

東京都立葛西工業高等学校長
有 明 得良人

1 目指す学校

優れた工業技術者・技能者の努力によって、我が国は工業立国として目覚ましく発展してきた。次代の発展のためには、引き続いて工業技術者・技能者の育成が不可欠である。

本校は、創立以来、校訓『真理を愛し、勤労をたっぴ、責任を重んじる』を掲げ、50年間に渡りゆるぎないものとしている。技能を重視した工業高校のリーダー校として、基本的人権の精神を涵養させるとともに、生徒一人一人が、「義務と責任」を自覚し、豊かな創造性と独創性を発揮する地域に貢献する学校づくりを全教職員で取り組んでいく。

- (1) 学習指導、進路指導、生活指導を充実させ、心身共に健康な生徒を育成する学校。
- (2) 技術者・技能者になるための基礎・基本を学び、キャリア教育を通して健全な職業観・勤労観を育み、明るく元気で挨拶のできる「生きる力」を高めさせる学校。
- (3) 行事、部活動、資格取得、ボランティア活動、地域活動へ積極的に参加し、潜在能力を発現させコミュニケーション能力を高めて、個性・能力を一層伸ばして、自信と誇りのもてる活力ある学校。
- (4) 地域における「ものづくり教育」の拠点となり、期待され信頼される学校。

2 中期的目標と方策

デュアルシステム推進校としてキャリア教育や設備拠点校実習を充実・発展させていく。「時を守り、場を清め、礼を尽くす」教育を全ての教育活動で推進していく。

- (1) 明確な進路目標を立て、基本的生活習慣を確立させて規範意識を高め、自主・自律の精神を育てる。
 - ① 生徒全員にインターンシップを体験させ、進路目標を明確にする。(進路指導)
 - ② 欠席・遅刻・早退を防止する指導を組織的に進め、1年間の皆勤・精勤者60%以上を目指す。特に、遅刻常習者を減少させるため、遅刻指導の充実・強化を図る。(生活指導)
 - ③ 社会のルールやマナーを守り、基本的生活習慣を確立する指導を徹底させる。(生活指導)
 - ④ 学校保健計画をもとに、生徒自ら自己の安全と健康を守る力を育成する。(健康づくり)
- (2) ものづくり教育を推進し、技能・技術を習得させ、健全な職業観・勤労観を育み、無業者ゼロを目指す。
 - ① 基礎的・基本的な実験・実習を通して体験的に理解させ、技能・技術の習得を図る。(学習指導)
 - ② 職業資格、検定・発表会に積極的に挑戦し、卒業までに3資格以上取得させる。(学習指導・進路指導)
 - ③ 全教科・科目及びホームルーム活動において環境教育に取り組み、身の回りの環境整備を推進し、美化意識を醸成する。(学習指導・生活指導)
 - ④ 地域の産業界や職業能力開発センターと連携し技能・技術指導を行う。(学校経営・組織体制)
- (3) 自己の能力を最大限発揮させ、自信と誇りを培い、全員進級・卒業を目指す。
 - ① 努力している生徒、成果をあげた生徒を認め、褒め、励ます指導を行う。(生活指導・進路指導・学習指導)
 - ② 自校の学力スタンダードに基づき、生徒の基礎学力の定着と一層の学力向上を推進するとともに、学力調査結果から生徒への個別指導と繰り返し指導に結びつける。(学習指導)
 - ③ 自校の技能スタンダードに基づき、生徒に身に付けさせるべき技能・技術を明確にして、基礎技能を習得させ、一層の技能向上を図る。(学習指導)
 - ④ 生徒全員の部活動加入を目指し、部活動の内容を一層充実・改善していく。(生活指導・学校経営)
- (4) 地域の幼・小・中・高、特別支援学校等との交流・連携・協力関係を推進する。
 - ① 設備拠点校実習を生かした実習の連携を行う。(学校経営・組織体制)
 - ② 地域の行事に積極的に参加し、地域並びに幼・小・中学校・特別支援学校等との交流・連携を推進する。(学校経営・組織体制)
 - ③ 教科「奉仕」の活動を通して、地域の一員としての自覚が高い生徒を育てる。(学習指導・生活指導・進路指導)
 - ④ ホームページの充実、中学校訪問、体験入学、学校説明会等、積極的な広報活動を行う。また、生徒による母校訪問を実現させ、学校生活を報告させ生きた学校説明とする。(募集・広報活動)
 - ⑤ 中学生を対象とするスポーツ大会の拡充と各種ものづくり体験の拡充を図る。(募集・広報活動)

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

生徒の実態に即し、P（計画）→D（実施）→C（評価）→A（改善）サイクルを定着させ、常に改善・充実を図る。

いじめ・差別・暴力そして体罰は、絶対に認めない・許さない・見逃さない方針を周知・徹底し、安心して学び、一人一人が力を発揮できる教育環境創りに学校挙げて取り組む。

① 学習指導

- 1 生徒の実態に応じて、教科・科目の授業内容を精選し、基礎・基本を重視した学習内容を重視した自校の学力スタンダードを定め、学ぶ意欲を高め、学力の定着を図る。
- 2 工業専門科目における技能スタンダードを定め、身に付けさせるべき技能・技術を明確にして基礎的技能を習得させ、一層の技能向上を図る。
- 3 授業時数の確保に努め、習熟度別授業、少人数授業等により、生徒の理解度に応じた授業を展開し、基礎学力の定着を図るとともに発展的内容を取り入れる。
- 4 学校全体で授業規律の確保に努め、各教科・科目で、基本的な学ぶ姿勢の指導を徹底する。
- 5 生徒による授業評価と指導法の研究を実施するとともに、教員相互の授業見学や公開研究授業・研究協議会・校内研修等を行い、授業力向上に努め、授業改善を進める。
- 6 専門教科においては、実験・実習を通して理論と基礎技能・技術を身につけさせる指導を充実させ、自校で実施できる資格取得講習会の機会を拡充させる。また、地域産業界（熟練講師）や職業能力開発センターとの人材交流等の有効活用を図り、教育効果を高める。
- 7 生徒が自ら調べ、考え、発表（プレゼンテーション）できる能力を伸長させる。
- 8 教科「奉仕」の活動を通して他人に共感し、社会に役立つ喜びを体感させ、進んでボランティア活動や奉仕活動に参加する生徒を育成する。
- 9 ICT機器を積極的に活用できる能力を高めるとともに、情報モラルを身に付けさせる。

② 進路指導

- 1 人間としての在り方・生き方の指導を充実させ、自己実現に向ける意識を高める。このため、毎学年進路調査を実施し統計処理して公表する。
- 2 進路指導部、学年を中心に外部講師を活用するなど、進路ガイダンスを一層充実させる。
- 3 2学年全員を対象とする技能習得型インターンシップ・就業体験型インターンシップを拡充させる。
- 4 デュアルシステムにおけるマナー講習（1年）・インターンシップ（2年）・ワーキングプログラム（3年）を充実させ、参加者を一層増加させる。

③ 生活指導

- 1 遅刻指導、服装・頭髪指導等の改善・充実を進め、基本的な生活習慣の確立と規範意識の指導を徹底して、場に相応しい振る舞いのできる生徒を育成する。
- 2 日常の清掃活動等を通して、教室美化環境等に自ら目を向ける指導を行い、施設や設備を大切に扱う態度を育てる。また、ごみの分別を図ると共にリサイクル教育を徹底する。
- 3 自己の可能性を引き出し、個性を発見・発揮できる機会を増加させるため、学校全体で、部活動を奨励するとともに、学校行事を一層精選・充実させる。
- 4 努力した生徒、成果をあげた生徒を認め、励ます、褒める指導を行う。集会で表彰を行う。
- 5 いじめ・差別・暴力をなくすため、スクールカウンセラーを一層活用し、養護教諭・学年・生活指導部との連携を強化して、教育相談機能を高め、未然防止・早期発見に努める。（1学年全員がスクールカウンセラーと面談する機会を設定する）
- 6 東京都生活指導統一基準に基づき、自校の「身に付けさせる規律・規範」に関する全体計画を策定して全校一致した体制で取り組んでいく。

④ 特別活動・部活動

- 1 部活動加入率を高め、生徒自ら自主的に運営できる能力を育成するとともに、加入率100%を目指す。（アルバイト原則禁止を徹底させる）
- 2 生徒会活動の活性化を図り、体育大会・江紫祭等の学校行事を一層充実させ、自主・自律の精神を涵養する。
- 3 校歌指導の充実を図り、入学生に上級生自らが指導できる体制とする。
- 4 地域の清掃活動等の実践により、生徒の社会貢献や思いやりの心を育み、豊かな人間性を育成する。また、地域との連携を一層強化し、愛される学校づくりを推進する。
- 5 平成32年に実施されるオリンピック・パラリンピックに伴い、オリンピック・パラリンピック教育の準備を進め、平成28年度にはオリンピック・パラリンピック教育を推進する。

⑤ 健康づくり

- 1 学校におけるスポーツ活動全般の支援を進め、心と身体を鍛える。
- 2 学校保健計画に基づき、健康増進・安全指導を充実させる。保健だよりの発行等を通じて、健康全般への意識を向上させる。万全なるインフルエンザ対策を講じる。
- 3 防災教育、交通安全教育、薬物乱用防止教室、普通救急救命講習会等を充実させ、自他の健康・安全を守る力を育成し、生命の尊厳について認識させる。
- 4 「食育」に関して、家庭と連携し生徒自らが健康や食生活を考える健康指導を充実させる。

⑥ 募集・広報活動(地域交流等)

- 1 中学校訪問、学校説明会や入試説明会等の生徒募集・広報活動に組織的に取り組む。
- 2 1学年時全員に母校訪問を企画し、高校生活の報告をするとともに生きた学校説明の場とする。
- 3 通年の学校公開、授業公開週間を年2回実施し地域に開かれた学校創りを推進する。
- 4 地域行事への生徒の参加等、地域貢献に積極的に取り組み、本校の良さを広く地域へ公表する。
- 5 江戸川区教育委員会、小・中・高校、産業団体等との連携・交流を推進する。
- 6 中学生を招くスポーツ大会・講習会を継続実施するとともに一層の拡大充実を図る。

⑦ 学校経営・組織体制

- 1 デュアルシステム(ワーキングプログラム・インターンシップ)における受入れ企業の新規開拓を推進する。
- 2 学校運営連絡協議会と学校評価委員会、学校保健委員会の充実を図る。
- 3 設備拠点校実習の内容を充実させ、実施率の向上を図る。
- 4 学校開放事業を拡充し、一層、施設開放・公開講座を充実させ、広く開かれた学校づくりを推進する。
- 5 将来構想会議を設置し、全教職員で本校のあるべき姿を協議し取り組むべき方策を導き出す。
- 6 主幹会議を設置し主幹教諭の役割と責任を明確化させるとともに、副主任制度を定着させ、組織力の向上と一層の活性化を図る。
- 7 学校経営計画に基づく各分掌における組織目標の確立を図る。
- 8 葛西工業高校通信(校長通信)を月一回発行し、生徒・保護者に学校の現状を伝達するとともに、ホームページに公開し募集対策の一助とする。
- 9 校舎内外の環境整備を進め、生徒の作品を展示できるスペースを設置するとともに、樹木の植樹・草花の植え込みを推進する。また、老朽化した施設設備の改修・修繕・補修を進めるとともに、新たに必要な設備の導入を図る。

(2) 重点目標と方策

- ① 基本的な生活習慣を確立して、授業に積極的に取り組む意欲と態度を高めさせ、進級率を増加させ、転・退学者を減少させる。
 - 1 認め・励ます・褒める指導を一層充実させ、生徒の学ぶ意欲を育てる。
 - 2 学年と分掌間の連携を密にし、生徒の基本的な生活習慣の確立を徹底する。
 - 3 生徒の課題解決のため、保護者との連絡を密にとり、協力・連携を図る。
 - 4 非行を未然に防ぐ指導を充実させ、特別指導の減少を図る。
 - 5 皆勤・精勤者を増加させ、遅刻指導の一層の改善・充実を進め、遅刻常習者の減少を図る。
 - 6 部活動の加入率を向上させ、一層の活性化を進め帰属意識を高めさせる。
- ② 就職希望達成率100%を維持し、卒業時の未就業者を無くす。
 - 1 卒業生・市民講師を活用した進路ガイダンスを年間3回以上行い、自己実現に努めさせる。
 - 2 東小松川工場会等の企業見学会・講演会を実施する。
 - 3 インターンシップ協力企業を増加させ、全生徒の参加を目指す。
- ③ 国家資格取得者、検定合格・認定者を増加させる。
 - 1 関連する授業等を活用し、各教科における資格取得指導を充実させる。
 - 2 資格取得、検定、ものづくりコンテスト等に積極的に挑戦する意識・意欲を高めさせる。

(3) 数値目標 全て前年度以上を目標とする。(近年の実績を示した)

- ① 進級率の増加 1年生の進級率(90%)目標 昨年度以上の実績(下記は近年の経緯)

		1学年	2学年	3学年	合計
25年度	在籍	182名	158名	159名	499名
	進級者	154名	145名	157名	456名
	割合	84.6%	91.8%	98.8%	91.4%
26年度	在籍	181名	157名	145名	483名
	進級者	173名	142名	143名	458名
	割合	95.6%	90.4%	98.6%	94.8%

② 退学者の減少・目標0名 26年度16名（下記は近年の経緯）

	1学年	2学年	3学年	合計
22年度	20名	14名	4名	38名
23年度	11名	16名	1名	28名
24年度	14名	9名	2名	25名
25年度	22名	9名	2名	33名
26年度	6名	9名	1名	16名

③ 皆勤・精勤者の増加と遅刻常習者の減少

1 皆勤・精勤者の推移（目標60%）

		1学年	2学年	3学年	合計
25年度	在籍 皆勤・精勤者	182名	158名	159名	499名
	割合	65%	38%	56%	59%
26年度	在籍 皆勤・精勤者	181名	157名	145名	483名
	割合	54.3%	40.1%	19.5%	39.0%

2 遅刻10回以上の生徒（目標20%以下）

		1学年	2学年	3学年	合計
25年度	在籍 遅刻常習者	182名	158名	159名	499名
	割合	36%	53%	57%	46%
26年度	在籍 遅刻常習者	181名	157名	145名	483名
	割合	57%	61%	62%	80%

④ 特別指導件数・対象者数の減少（6件19名）目標・前年度以下

特別指導件数・対象者数の推移

	1学年	2学年	3学年	合計
25年度	14件 14名	12件 12名	1件 2名	27件 28名
26年度	1件 11名	4件 7名	1件 1名	6件 19名

⑤ 部活動加入率 昨年度以上の実績（87%・2学期末56%）

時期	5月期	2学期末
23年度	85%	未調査
24年度	80%	未調査
25年度	82%	未調査
26年度	87%	56%

⑥ 就職・進学希望達成率 引き続き100%（100%）

就職希望達成率 5年連続100%達成

	卒業 者数	就職 希望者	就職 内定者	進学 希望者	進学 決定者	内定 合計	未定
22年度	137名	103名	103名	34名	32名	135名	2名
23年度	146名	95名	95名	51名	48名	143名	3名
24年度	141名	91名	91名	50名	47名	138名	3名
25年度	157名	99名	99名	58名	49名	148名	9名
26年度	143名	106名	106名	37名	36名	142名	1名

⑦ 第2学年におけるインターンシップ参加者数の増加（117名・74%）

インターンシップ協力企業と参加者の推移

	協力企業	参加者	就職者
22年度	15社	32名	0名
23年度	38社	71名	4名
24年度	60社	84名	9名
25年度	76社	113名・75%	10名
26年度	76社	117名・74%	11名

⑧ 各種資格取得数 3資格以上 26年度82%（117名）最高取得数16資格

各種資格取得数の推移

	取得数			平均	最高 取得数
	0～2	3～5	6以上		
25年度	61名 39%	58名 37%	38名 24%	4.5	18
26年度	26名 18%	68名 48%	49名 34%	5.1	16

⑨ 各種資格等取得者数
ジュニアマイスター顕彰

1

種 別	目 標	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 実績
ゴールド	前年度以上の実績	8名	13名	14名	4名	1名
シルバー	前年度以上の実績	15名	15名	7名	8名	9名
特別表彰	前年度以上の実績		2名	7名	1名	0名
計	前年度以上の実績	23名	28名	21名	12名	10名

2

2 国家資格並びに各検定等

資 格・免 許 等		目標	22年度 合格者	23年度 合格者	24年度 合格者	25年度 合格者	26年度 合格者	
危険物取扱者	内 種	前年度以上		35名	32名	32名	22名	
	乙種第4類		13名	2名	9名	0名	3名	
	乙種第5類			1名	1名	0名		
消防設備士	乙種第6類			2名	2名	0名		
	乙種第4類			5名	1名	4名	2名	
	乙種第7類			8名	4名	8名	10名	
第2級陸上特殊無線技師				7名				
第2級海上特殊無線技師				2名				
航空特殊無線技師				1名	1名			
工事 担任者	AI第3種			4名	5名	13名	1名	8名
	DD第3種			8名	5名	11名	11名	5名
	DD第1種							2名
	AI・DD総合				0名	1名	0名	
第2種電気工事士				19名	27名	21名	26名	34名
第1種電気工事士					13名	4名	1名	1名
技能士	建築大工2級			2名	1名			0名
	建築大工3級		13名	1名	11名	5名		
	とび 2級		1名	1名			0名	
	とび 3級		3名	12名	7名	9名	4名	
	機械保全3級		5名	6名	6名	7名		
	電気機器組立3級			0名	6名	0名		
	普通旋盤作業3級		2名	0名	0名	1名		
品質管理検定 (QC検定)				0名	18名			
ガス溶接技能講習			50名	49名	43名	67名	95名	
アーク溶接特別教育			47名	39名	44名	85名		
フォークリフト運転特別教育			66名			153名		
高所作業車運転特別教育				51名			53名	
小型車両系建設機械特別教育					45名			
玉掛・移動式クレーン特別教育							65名	
施工管理技術者検定 2級			0名	0名	0名	2名	0名	
福祉住環境コーディネーター 3級			0名	0名	0名	2名		
日本語 ワープロ 検定	2級			0名	2名	2名		
	準2級			1名	6名			
	3級			22名	22名	17名	5名	
	4級			12名	14名			
情報処理 技能検定	2級				2名	11名	5名	
	3級				12名	5名		
パソコン 検定 (P検)	準2級					15名		
	3級			3名	0名	4名		
	4級			23名	0名	15名	35名	
文書処理能力検定 3級					6名			
日本漢字 能力検定	2級			0名	1名	1名	0名	
	準2級			22名	2名	2名	0名	
	3級			34名	15名	7名	0名	
	4級			0名	1名	6名	0名	
実用英語技能検定 3級				1名			0名	
実用数字技能検定 3級				0名	3名	3名	0名	
計算技術 検定	2級		2名	3名		5名		
	3級		144名	132名	105名	93名	128名	
	4級		163名	157名	76名	55名	105名	
情報技術 検定	2級			24名	14名	13名		
	3級			54名	81名	47名	46名	
機械製図検定				37名	13名	8名		
基礎製図検定				24名	31名	19名	21名	
延べ人数			540	822	715	728	648	